

---

すばらしい世界へ。

っレイズ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

すばらしい世界へ。

### 【著者名】

Z5854F

### 【作者名】 フレイズ

### 【あらすじ】

ひょんなことから、異世界へと引き込まれる、なんかどこにでもありそうなお話。

## プロローグ、俺とお前（前書き）

作者は軽く二ヶ月の間です。

期待ので読んでいただけると幸いです

# プロローグ、俺とお前

「よひ！」と、一言声がする・・・。誰かと思えばその辺のやつ・・・つてわけでもないんだなこれが。

「ちがうって何回いえばわかるのかな？君わ・・・」

シユユユドーン！！！バキバキ。

(バキバキつてなんですか!?)

そのいびつな音のしたほうを見ると・・・なんと一電柱が・・・つてことはない。

でもまあ近所迷惑にはなるわなあ・・・あれわ・・

なんせ「ミステーションの横にある転落防止用の策が見るも無残におられているんだよな・・・。

「うわっ、こええわこの怪力腐女子・・・」

「あ?」

「いえ、何も申しておりません!...アダムとイブに誓つてでもこれだけは申し上げておきます!...」

「んなこたぢつてもいい――――――#た言つたよね?しかも変な修飾詞つけて。ねえ?」

普通こんな場面があれば、そのままスルーでストーリーが進むといつものが多いような気もするが・・・

ボコボコ!-!バキ、ボキッ!-!ドーン!-!シューーン・・・キラーン。

一連の流れを `kwsk` (詳しく述べ) 説明していく。

ボコ (1HIT-) ボン (2HIT-) バンボキドコバーン (3・4・5・6HIT-)

ドーーーーン（フエト）ぶつ飛んでいて……の形で空のかなたえーシューンピカーン！

ていう感じで、すばらしく格ゲーの雰囲気が出ているが……まったくと言つていいほどリアルにやると痛いものだ。

これでは格ゲーの中では生きていこうとはできないだろうな（考  
えるなボケ

「あー。やうすぎちやつた！まあいや……必殺技使えなかつ  
たし～」

必殺技つて何だよ……ていうか追えよ……一応君ヒロイン役  
なんだから……（天の声）

「えーだつて。あ、アイツが悪いんだからねつ！」

いや……キャラ違つよ……つてことはないけれど……（天）

どつちかつて言つと自分から知つててシンデレラのやめてくれ  
ないか？（天）

んー軽く読んでいるほうが引くわ・・・オタク怪力腐女子。（天）

「んー・・・。一回死ぬ？それとも性別変えようか？」

ん? そんなことできるはずないよ、見えてないんだからなwww  
力めwww(天)

「それは、 そ うなんだけ ねえー。」

てかさつさと追つてやれ。かあいそうだ。  
(天)

「分かつたわよ・・・追えばいいんでしょ。」

（1k3m11秒3の速さで3・4井口走る）

「できるわナなーでしょー！」

作者の考案でわ可能と考えております。（作）

「あやつ…………。走れないよお・・・早やすぎやねつ

てえ——

はあ・・・はあ・・・はあ・・・はあ・・・（口へ考へえないでく  
れよ・・・。）

「ついたあ・・・・・・・てカアイツはまびこく・・・

周りをきょろきょろ・・・じー——。

「あつ！植木鉢に刺さってる！やつぱ私って天才っ！まあ今日の  
飛距離は3427mだつたつてことかな。」

「あつ！やばいって！植木鉢が倒れそう！ほっとくか・・・。」

「 。 あてえ。」

「あれえ？なんか聞こえる〜でもあえてのシカト〜

「 」

後ろを振り返ると、アイツとこいつのやつはひかりを睨んでいた。

すばらしく……。あんな殺氣は並の人間では、出せるはずはないだろ？

「ひいつー！ きたの？」

「あの……君……人をぶつ飛ばしといて、無理に生きてたの？ じゃないだろ！ …」

「えーだつて、3キロ半飛ばしたんだから、死んでくれて、いいじゃない？」

「あんな……お前…… すぞ。」

「？ なんか言つた？ 聞こえなかつたんだけど？」

そりやそりや……。これは言つたら絶対殺される……いろんな意味で殺される……。だからいわないのさ……

「なんでもない……。てか、お前は俺と一緒に遅刻してもいいのか？」

## キーンゴーンカーンゴーン

「ないわ～……まじないわ～。もう、あ・・・あんたのせいなんだからねっ！」

だから、ツンデレやめろよ・・・。

「じゃ、私はもう行くから。傷が痛くなつたら、言こなさいよ。それか保健室に行きなさいよ、絶対ね！」

「はいはい、わかりました。はよいけ、くれはさんよ・・・。」

「また、放課後か、昼休みか、それとも休み時間か、またね～ゆう。

「ああ・・・。」

タツタツタツタツタツタ・・・・

「ああて俺も行くかなあ・・・。」

いやー学校へー

つてこれ書かべか?書かないべきだある。

## プロローグ、俺とお前（後書き）

どうでしたか？あきましたか？  
まあ飽きましたね、が多いかと思います。  
ではノシ

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5854f/>

---

すばらしい世界へ。

2011年1月27日03時00分発行